

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年																	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~6日	6月 ~13日	6月 ~20日	6月 ~27日	7月 ~4日	7月 ~11日	7月 ~18日	7月 ~25日	8月 ~1日	8月 ~8日	8月 ~15日	8月 ~22日	8月 ~29日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	114	65	137	114	169	32	39	20	24	37	39	30	16	34	18	11	14	8
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	39	25	52	61	55	12	23	17	12	24	13	19	7	16	9	2	7 (10)	8
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	6	5	3	1	5	2	1	1	4	4	3	2	1	2	11	1	4 (5)	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	14	16	33	19	39	6	9	5	5	8	4	3	2	0	4	1	5	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	10	10	15	25	31	6	4	1	2	5	6	3	0	5	5	2	5	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	3	4	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	4	5	6	11	13	2	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第34週(8月23日~8月29日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2	1				1		
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2					2		
四類	4	日本紅斑熱	4	1		2				1
五類	5	梅毒	5					4		1
新型コロナウイルス等感染症	2233	新型コロナウイルス感染症	2,233	179	159	152	36	1,159	118	430

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第34週に1,159件の報告がありました。10万人当たりの1週間新規感染者数は高い水準で推移しており、感染状況はステージIVと厳しい状況が続いています。広島県は、医療の体制が危機的状況になるとみて、国に対して「緊急事態宣言」を要請し、8月27日から9月12日までの期間で適用されました。

デルタ株は感染力が強く、これまで以上に接触機会を下げないと、まん延が止まらない恐れがあります。基本的な感染防止対策や人出の削減に努め、体調に異変があるときはすぐに受診するなど、一人一人が感染防止対策を徹底しましょう。

緊急事態宣言発令 ～県民・事業者の皆様への要請～

県民/事業者の皆様への要請	県民/事業者の皆様への要請	県民/事業者の皆様への要請
<p>昼間の人出削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な買い物などを含めて 全県で外出を半減 (通院、通勤、通学を除く) テレワークや休暇取得などで職場への 出勤者7割減 を目標として実施 	<p>夜間の人出の更なる削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全県で <ul style="list-style-type: none"> →酒類・カラオケ提供店の原則休業とそれ以外の飲食店の20時までの時短要請 →20時以降の外出は削減 →事業継続に必要な場合を除き20時以降の勤務抑制 ■要請に応じていない店舗の利用はしない、路上飲みはしない 	<ul style="list-style-type: none"> ■県外に行かない・呼ばない ※どうしても、の場合は出発前到着地で検査を (通院、通勤、通学を除く) ■体調に異変があるときは、すぐに受診を無症状でも、PCRセンターで受検を

【参考】広島県へ緊急事態宣言が発令【R3.8.25会見】(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20210825.html>

2 ヘルパンギーナ

定点当たり0.83人と増加しています。手洗いの励行や排泄物の適切な処理など、感染予防を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	1	0.03	0.02		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.10	
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.33			RSウイルス感染症	46	1.92	1.22	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	1.19		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	43	1.79	3.67			流行性角結膜炎	3	0.38	0.75	
	水痘	1	0.04	0.45		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	6	0.25	1.29			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	-	-	0.31			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11	
	突発性発しん	5	0.21	0.41			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	20	0.83	0.54		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↕ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	56	90歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	14	10歳未満・O26・2人
5	梅毒	4	45	20歳代・3人、30歳代・1人